

日時：2017年7月2日(日) 13:00～16:30

場所：兵庫県立のじぎく会館 1階ふれあいルーム、参加者：大学生等約30名

主催：兵庫県、大学生協関西西北陸事業連合、学生団体スマセレ

協力：日本ヒーブ協議会、日本ハム株式会社、全国大学生協連関西西北陸ブロック

関西支部会員の川口徳子が講義を行いました。

<講義内容>

●講演①「キャリアを通じて感じたこと」

・自己紹介、これまでの仕事について、プライベート、心がけていること

●講演②「消費者市民社会と消費者志向経営の実現に向けて」

日本ヒーブ協議会とは？

1. 生活者と企業のギャップ：突沸とは、ひとり暮らしの若者へのアドバイス「情報カード」

2. 消費者市民社会とは？

・「お客様の声を活かした取り組み55事例」

・「超高齢社会における企業の消費者対応～お客様の声を活かした取り組み33事例～」

3. 消費者志向経営とは？

・商品開発の流れで考える 商品開発フロー例、開発秘話:「石窯工房」の開発背景・歴史、ブランドアイデンティティ 他

・商品改善の流れで考える お客様の声を分析し、改善・開発に活用。改善活動フロー例、改善事例「中華名菜」

4. コミュニケーションの機会づくり (日本ハム株CSR推進部 梅村由起子より)



☆いただいた感想のご紹介☆

<キャリアを通じて感じたこと>

- ・自分では今はどこに活かせるか解らないことでも、将来思わぬ所で生きてくことや、挑戦することの大切さなどを再認識でき、良かったです。
- ・自分の弱点を無理に直そうとはせず、強味をより伸ばしていくということが、とても印象的だった。まずは強味をより多く発見し、伸ばして行こうと思う。

<「消費者市民社会」「消費者志向経営」に対して、一人の消費者として、どのように行動すべきと感じたか>

- ・改良案や意見を述べることによって、これからの商品・サービスの質が良くなるので、意見を発信して行くという意識をすることが大切だと感じました。
- ・商品や企業について知る努力が大切だと感じました。
- ・アルバイトでも言われていますが、お客様視点で考えるようにと言われていいますので、今日のセミナーの事も頭に入れて、これから行動していきたい。

<講義全体を通じての意見・感想>

- ・普段は聴けない就活の話、商品開発の流れ、お客様の声を活かした取り組み、改善について知れたのが良かったです。
- ・とても勉強になりました。また、私が昔聞いた「企業は人でできている」という言葉に、全講義を通じてより確信が持てました。